

## 平成 25 年度 12 月議会 一般質問内容 (12/17)

12/17、60 分間の一般質問を無事終わることが出来ました。  
 一般質問は、一次質問のあと、その答弁が当局からありまして、その後一問一答式の二次質問という形になります。下記に、一次質問の内容と、当局からの回答・答弁を簡単に載せさせて頂いております。

### 1.市制 60 周年に向けて

#### (1) 阪神競馬場を宝塚競馬場に名称を変更するよう働きかける件について

宝塚市で重要な観光資源、また市外から宝塚市に来ていただける資源として、重要なものとして、宝塚歌劇・清荒神・中山寺などと並び、JRA 阪神競馬場がある。

H5 年に自治会連合会の署名を持って、宝塚競馬場に名称変更してもらえよう働きかけた経緯があり、愛称として宝塚競馬場と呼んでも差し支えないということで、中央競馬会からの回答があったとのこと。  
 あれから 20 年が経過し、時代背景も変わり、正式名称として阪神競馬場を宝塚競馬場、或いは阪神宝塚競馬場として名前を変更してもらうことに、再度チャレンジしてはどうか。当局の見解を。

(回答) 検討する。



#### (2) 「(仮称) 宝塚歌劇を市民が身近に感じる日」条例の制定について

宝塚市が文化的で華やかなイメージとして全国的に知られる街になっている大きな要因が宝塚歌劇であることは、誰もが思うところである。

しかし市民の中でも宝塚歌劇を見たことがない人が多い中、かつては、宝塚歌劇の方々が宝塚競馬場での宝塚まつりのフィナーレにも出演して頂いたり、宝塚ファミリーランドがあった時には、大劇場を間近に見て、今よりもっと宝塚歌劇に対して親近感があったように思う。

一方、最近の乾杯条例などに見られるように、ご当地の産業などを応援する意味合いの条例も増えてきた。

我が市でも、表題に掲げたような条例の設置によって、一部のファンだけでなく、「宝塚歌劇がある街、宝塚市」を PR し、市民が応援できる状況を、条例制定によって創出していきたいと思う。当局の見解を。

(回答) 検討する。

#### (3) 宝塚市観光案内所兼物産販売所の設置について

市外から宝塚市へ来て頂ける方は、阪神間の他市に比べ、かなり上回っている。  
 しかし多くの方々に来て頂けたり、お土産品などの名物も多いのに、宝塚市は、観光案内所もなければ物産館がない。

最近「ものことば」など新しい試みとして頑張ってもらったりパンフレット類やホームページなどは充実してきているように感じるが、宝塚市を訪れたの方々に対して、実際に品物を手に取りながら、観光の事はここに聞けばわかるという場所が必要かと思う。

かねてより、宝塚市商店連合会等からの要望にもあるように、私も観光案内所兼物産販売所の設置は必要であると考えている。

その設置場所は出来るだけ PR 効果の高い場所にしなければならない。  
 そこで、宝塚市観光案内所兼物産販売所の設置について、当局の見解を。

(回答) 物産販売と観光案内所を兼ねた、アンテナショップを年度内に、宝塚駅周辺に設置する。

### 2.超高齢社会を乗り切る施策について

#### (1) 日経グローバル誌「全国市区の高齢化対応度調査」ランキングについて

本年 10/3 の 9 月議会的一般質問を、同じタイトルで行ったが、この度、11/4 発行の日経グローバル誌 231 号の特集記事で、「全国市区の高齢化対応度調査」ランキングが発表された。

この調査は、全国 789 市と東京 23 区の合計 802 市区に対して、今年の 8/16~9/25 に実施された全国調査である。

調査の有効回答は 702 市区で、宝塚市はその中で総合順位が 504 位という低い結果であったことに愕然とするとともに、やはり 9 月議会の質問で指摘したように、我が市の高齢化対策が遅れていることが全国的に発表された。

9 月議会の答弁では前向きな回答を得たが、更に市政を預かる当局に認識を深く持ってもらうことを狙い、今回再度質問をさせて頂く。⇒

一般質問は、宝塚市議会ホームページ宝塚市議会議会中継で動画配信中です。